

第 347 回昭和の森自然観察会

タネの旅

武田宏子(千葉市)

日 時：2020 年 11 月 8 日（日）10 時～12 時 天気：曇り
参 加 者：大人 6 名 子ども 5 名 計 11 名 指導員 7 名 他 1 名
担当指導員：玉川弘幸 晝間初枝 武田宏子

コロナ禍、マスクをつけての観察会。少人数の 3 班に分かれ、観察開始。穏やかな暖かい空の下、木々の紅葉がすすむ昭和の森で、タネ探し。大人も子どもも、いろいろな植物のタネを見つけて、タネと遊び、タネに親しみ、遠くに運ぶためのタネの工夫やしかけを考えました。さまざまなタネの生きる知恵を知りとても感心しました。



たくさんのドングリを落としたお母さんの木は？シラカシ。誰か(人や動物)が土のある所に運んであげないと芽は出ないよ。すぐ近くの植え込みのところに沢山のシラカシの芽・・・ここじゃ大きくなれないね。植え込みの実生探し。エノキやクワやコブシなど、どこからどのようにして来たのかな？



飛ばしてみよう！イヌシデのタネは 1 枚 1 枚離れて回りながら飛んでいく。タネに翼がついた飛行船だ。うまく発芽すると良いね。ケヤキのタネは小さな葉をつけて小枝ごと風に乗って回りながらより遠くへ飛ばうとしているね。カエデのタネは、二つに分かれてひらひら。オニドコロ、タネも翼も薄くぺらぺらでおもしろい。



草むらで大きな布をバサッ。沢山のタネがひっついた。ツユクサのタネと比べて見たところひっつくタネにはとげやねばねばがあることがわかった。イノコズチやチヂミザサのタネは人や動物に引っ付いて運ばれるのだね。ヤブミョウガの藍色の実(BB 弾位) はカサカサ。中にへこみのある小さな黒いタネがびっしり!! 鳥が運ぶのかな？



コブシのタネを拾う。赤い実の中に一個のいびつなタネ。赤い実は糸を引く。高いところにあるタネなのでその実を食べるのはきっと鳥だね。実生のコブシは鳥が食べて落としたタネが発芽したもの。エノキの干からびた実を発見。植え込みのエノキも鳥が食べて落としたタネから。葉にアカボシゴマダラの幼虫を見つけて、子ども喜ぶ。